

教育委員会における統合認証基盤設計構築委託実施要領
プロポーザル評価基準

1 基本的な考え方

有効な提案をした者のうち、教育委員会における統合認証基盤設計構築委託プロポーザル評価委員会（以下「評価委員会」という。）の審議によって算定した、技術評価項目における得点である「技術評価点」と提案金額の評価における得点である「価格評価点」を合算した「総合評価点」の最も高い提案者を最適な事業者として特定する。

2 技術評価点及び価格評価点の算出方法

評価の項目、評価点の配分及び採点の基準は「教育委員会における統合認証基盤設計構築委託 プロポーザル評価項目・採点基準表」（以下、「評価項目・採点基準表」という。）のとおりとする。

また、技術評価点及び価格評価点の算出方法については、次のとおりとする。

(1) 技術評価点

企画提案書の記載内容及び企画提案の内容に対する評価により算出する。

評価委員が評価項目・採点基準表の評価項目ごとに5点満点の絶対評価によって採点を行う。

なお、項番1から6及び10については重点評価項目とする。

項番1～6については素点を2倍に、項番10については素点を4倍にして各評価委員の評価点を算出する。

(2) 価格評価点

価格評価点は、提案者から提出された見積書に記載の金額（税抜き）に基づき、次の式により算出する。

$$\text{価格評価点} = \text{配点 (5点)} \times 2 \times (1 - (\text{提案金額} / \text{上限額}^{\ast 1})^{\ast 2})$$

※1 上限額：19,350,000円（税抜き）

※2 括弧内は小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位まで算出する。

※3 価格評価点は小数点以下第1位を四捨五入して整数で算出する。

※4 提案金額が上限額を上回った場合、失格とする。

※5 上限額の2分の1以下の金額による見積が提出された場合、見積の詳細を調査する。
調査の結果、見積が妥当と認められれば配点通りの評価点（5点）を付与し、妥当と認められなければ失格とする。

3 提案者の特定方法

提案者は、次の方法で特定する。

(1) 次に掲げる要件の全てに該当する提案者のうち、2に定める評価方法により算出された技術評価点と価格評価点を合算した総合評価点が最も高い者を最適な事業者として特定する。

ア 見積書に記載された金額が、上限額以下であること。

イ 仕様書に記載する要件を全て満たす提案であること。

- ウ 定性評価点の総合計が満点の60%以上の点数であること。
 - エ 定性評価項目において、全評価委員の過半数が評価点0とした項目がないこと。
- (2) 総合評価点の最も高い者が2以上あるときは、次の基準により特定する。
- ア 技術評価点が最も高い者
 - イ アによって決定できない場合、重点評価項目の10（自由提案）評価点の合計が最も高い者
 - ウ イによって決定できない場合、再度評価委員会に諮り、本件契約について最適な事業者を特定する。

4 受注者の決定

発注者は、評価委員会の審査結果を踏まえて受注者を決定し、その結果を各提案者に通知する。

教育委員会における統合認証基盤設計構築委託 プロポーザル評価項目・採点基準表

※評価：5段階とし、最高を5、最低を1とする（標準は3）。各評価基準の得点は、（評価点×係数）とする。

項番	分類	項目	評価点	係数	配点	評価の観点・採点基準	
1	技術評価項目	定性評価	会社概要・実績（同種・同規模）	5	2倍	10点	【遂行能力と実績】 ・会社概要（体制/拠点/支援可能範囲）が明確で、本業務を遂行できる組織の根拠が示されている。 ・仕様書に記載のある業務内容のうちMicrosoft E3又はA3以上を利用したID管理及びセキュリティについて、概ね1万人規模での設計/構築/検証実績が具体的（案件概要、役割、成果）に示されている。 ・主要メンバーの資格・経歴が本件（M365/Entra ID、ID管理、セキュリティ設計）に適合している。
2			目的・概要の理解（課題整理）	5	2倍	10点	【目的理解と課題整理的的確性】 ・統合認証基盤（Microsoft Entra IDを中核）により「強固なアクセス制御」と「ID/権限の一元管理」を実現する目的を理解し、現状課題と論点が整理されている。 ・人事データ活用、既存ID管理との連携検証、令和10年度の本格運用を見据えた移行/運用課題が具体化されている。
3			統合認証基盤（Entra ID）対応	5	2倍	10点	【統合認証基盤（Entra ID）最適設計・設定方針】 ・川崎市教育委員会に最適なEntra ID基盤（テナント設計、条件付きアクセス、ID/権限管理方針等）の提案になっている。 ・組織情報/人事データを踏まえたEntra ID内のグループ構成の提案・設定方針が具体的に示されている。
4			ID管理システム対応	5	2倍	10点	【IDライフサイクル管理の実現性】 ・検証用ID管理システム（SaaS）及びLDAPManager（オンプレ）の要件適合、選定理由が明確になっている。 ・アカウントプロビジョニング手法（連携方式、同期/差分、失敗時の扱い）が妥当で、検証計画が具体的に示されている。 ・人事データ整形～投入（手順、随時/月次/年次処理や運用方法）が具体化されている。
5			セキュリティ設計	5	2倍	10点	【セキュリティ設計の妥当性とリスク低減】 ・アクセス制御を前提としたネットワーク/クラウド利用環境を踏まえ、A3で利用可能なセキュリティ機能の最適設定方針（設計根拠含む）を提案し、設定・検証まで示されている。 ・A3で不足する場合、A5追加機能、想定コスト、運用/利用者影響、代替案を比較して提示されている。 ・リスク分析により残存リスクを洗い出し、予防的運用の仕組みを提案かつ、次年度以降のSOC導入も見据え、運用委託仕様案と引継資料が作成可能となっている。
6			端末設定方針（Entra ID Join/オンプレAD）	5	2倍	10点	【端末参加方式の比較検討と移行の確実性】 ・端末設定変更にあたり、職員・関係事業者と連携した実施方法が提案されている。 ・Entra ID Join とオンプレAD参加（Entra連携含む）を比較し、要件/制約を踏まえた方針が妥当なものになっている。 ・オンプレAD採用時は調達・設定・連携設定・動作確認までの実施内容が明確になっている。 ・方針決定時期（11月末まで）を踏まえた検討/検証スケジュールが適切なものになっている。
7			実施体制・主要メンバー（資格/実績/再委託管理）	5	1倍	5点	【体制の信頼性】 ・実施体制（役割分担、再委託範囲と管理方法）が明確で、品質を担保できるものになっている。
8			伴走支援・コミュニケーション方法	5	1倍	5点	【伴走支援の具体性と合意形成力】 ・検証作業や各システム設定において、本市職員と連携し、必要に応じ現地で画面確認しながら課題整理・改善提案まで一体で進める方法が具体的（頻度、支援範囲、連絡手段）になっている。
9			タスク・スケジュール/リスク管理	5	1倍	5点	【計画性・進捗管理とリスクマネジメント】 ・本業務のタスク分解、成果物、マイルストーン、スケジュール計画が明確になっている。 ・想定リスク（技術/運用/関係者/調達）と対策、課題管理方法が妥当なものになっている。
10			自由提案（上積み提案）	5	4倍	20点	【上積み提案の有用性・実現性】 ・目的・概要の達成に資する上積み提案（例：SOCサービス、運用ポータル、認証型プリンタ設計等）が具体的で、効果/コスト/実現性が示されている。
11	価格評価項目	委託経費	5	1倍	5点	価格評価点＝配点（5点）×2×（1－（提案金額／上限額※1）※2） ※1 上限額：19,350,000円（委託経費の総額（税抜き）） ※2 括弧内は小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位まで算出する。 ※3 価格評価点は小数点以下第1位を四捨五入して整数で算出する。 ※4 提案金額が上限額を上回った場合、失格とする。 ※5 上限額の2分の1以下の金額による見積が提出された場合、見積の詳細を調査する。 調査の結果、見積が妥当と認められれば配点通りの評価点（5点）を付与し、妥当と認められなければ失格とする。	
計					100点	技術評価点95点＋価格評価点5点	